

ビジネスがひろがる
豊かな未来がひろがる



建設事業

暮らしを便利にするとともに災害などから地域を守る土木事業、街の機能を高め安心して利用できる施設や構造物を生み出す建築事業。舗装・重機・運搬・骨材部門の組織力を結集し、豊かな地域づくりの一翼を担うべく業務を推進しています。

環境省

■第6回 グッドライフアワード
環境大臣賞 企業部門 受賞
建設・運送会社が里山再生に挑戦する
「100年の森づくり」

国土
交通省

■I-Construction大賞 国土交通大臣賞 受賞
■平成30年度 ICT活用工事成績優秀企業認定

運送事業

企業理念である「安全はすべての作業に優先する」をモットーに、国内の幹線輸送を担っています。国内最大級の66m積載車で輸送の効率化を図るだけでなく、高機能エアサスペンションでお客様の大切な荷物を「迅速・確実・丁寧」にお届けしています。

農業事業

新潟県、上越市の基幹産業である農業を守り、水田を中心とした農村環境を守ろうと、農業に参入しています。150ヘクタールを超える広大な水田で、最新鋭の機械と最新技術を駆使して、安全で高品質なコシヒカリを生産しています。



—安全はすべての作業に優先する—

田中産業株式会社



〒943-8505
新潟県上越市土橋 1928 番地
TEL : 025-525-1212(代)
FAX : 025-525-1000
Email office@tanakaind.co.jp

地域未来牽引企業

地域未来牽引企業は、先頭に立って地域経済を牽引する地域の中核企業を経済産業省が認定する事業です。当社は平成29年度の第1回認定時に選考されました。認定に恥じぬ事業活動で豊かな地域を作っていきます。



あの建物も、この道も。
未来を動かす
大切な存在

TANAKA

Recruit guide





大瀧 正敬 土木部課長 2002年入社
丸山 健太郎 2017年入社
若島 秀 2018年入社
熊木 稔 2018年入社
竹澤 怜二 2019年入社

施工管理技術者 先輩 × 後輩のリアルVOICE

存在しないものがカタチになり、それが周りのみんなの役に立つ。そして、自分のできることが増えてゆく。



Q1 入社した決め手は？

高校生の時に、工事現場で見かけた数多くのダンプカーや重機が強く印象に残りました。地元にある大きな建設会社で、こんな重機を使って大きな仕事ができるのではないかと考えたからです。みんなはどんなきっかけからTANAKAに興味を持ったの？



僕は学生時代にやりたいことが見つからず、建設業も最初は就職先として意識していませんでした。ただ、測量を学んでいたことから、地元にあるTANAKAをホームページなどで調べたり、現場を気にして見ているうちに、自分の働く姿を想像して夢が広がりました。



私は土木工学を学んでいたこともあり、TANAKAのインターンシップに参加したんです。その時に感じた「一つのことをみんなで力を合わせてつくる」という団結力と社風に魅力を感じ、私もその中の一員になれるといいなと思ったのが入社決め手です。



Q2 TANAKAで良かったことは？



会社の姿勢としている、みんなで喜びを分け合う「大家族主義」は本当だと実感しています。担当した仕事から報奨金ももらえて、それも、恐縮するような額で。今後の頑張りに投資ということなんでしょうか？大瀧さんは、これまでの報奨をどう捉えていますか？



確かに報奨金も多くもらえて嬉しいけれど、それ以上に、現場を任せてもらえて、レベルの高い仕事をやりきった時、そして、それが認められたことの方が喜びとして大きいです。TANAKAにはまだまだ大きな仕事があるから挑戦する楽しみがあるよね。



僕はまだ1年目だから仕事を完成させた実感がわかりませんが、先輩が一つ一つ順を追って仕事を教えてくれるので助かります。この前も写真の撮り方から学びました。先輩の面倒見の良さもTANAKAの良さだと思います。



Q3 今後やってみたいことは？



ICTはこれからもっともっと進化する。安全や精度、効率など建設の未来に向けた取り組みで可能性は広がる。その分、まだまだ学ぶことが多いけれど、時代の最先端に取り組んでいることにワクワクするね。



今度、ICT活用工事の一員として担当させてもらうことになりました。このチャンスを活かして自分の知識や技術のレベルアップを図りたいです。



私はまずは、現場を任せられてみんなをまとめられるようになりたいです。この仕事は経験から学ぶことが多く、一つ一つの積み重ねが大切ですね。



僕はこれから仕事でいろいろな経験をできることが楽しみです。一つ一つしっかりこなせるようになりたいです。先輩方みんなが憧れます。



TANAKA がすごい、3つのポイント

社員の幸せを願う「大家族主義」新潟県トップクラスの健全経営企業

point 1

公共工事を主力事業とする安定した経営

「地域社会に貢献する企業であり続ける」という理念のもと、地域の建設業を牽引する存在になろうと成長を続けてきました。くらしを便利にするとともに災害などから地域を守る土木事業、街の機能を高め安心して利用できる施設や構造物を生み出す建築事業。公共工事を主力事業として豊かな地域づくりのために、技術と品質の向上に努め安定した経営を実現しています。

高収入で還元し社員の生活をサポート

「大家族主義」を掲げる経営方針から、功績により得た利益は、力を合わせて関わったみんなで分け合おうというのが当社の姿勢です。手掛けた案件が高い評価点を獲得したり、優良工事として表彰された際には、担当技術者に報奨金を支給。技術者一人ひとりに対する評価を目に見えるカタチで還元しています。



最新鋭重機・車輛台数が全国トップクラスの保有

200台台数

point 2

建設に関わる各種重機、特殊重機や除雪車なども

大きな物を運んだり、大きな力を加えたり、建設現場では様々な重機が活躍しています。また、種類や大きさなどラインナップが増えることで、実現できることや可能性もそれに伴い広がります。安全性と技術向上のため新車種を積極導入するとともに自社保有の利点を活かしてTANAKAだからできることを追求しています。

自社保有だからできる緊急時の即応力

「何かあった時には頼られる存在でありたい」。豊かな地域づくりはもちろんのこと、身近で困ることがあれば役に立ちたい。そんな想いから、万が一の災害時には、自社保有の重機と培った土木・建築の技術を用いて、迅速な対応で地域の皆様のお役に立てよう努めます。



ICT(i-Construction)の積極導入 安全性・精度向上、労働負荷軽減への挑戦

point 3

i-Construction大賞 国土交通大臣賞 受賞

コンピュータ技術を活用した「人と人」「人とモノ」の情報伝達手段が進化を続けるICTは、建設分野でも「i-Construction」として安全性・精度向上、労働負荷軽減などの面から注目される取り組みです。当社は、ICT建設機の導入や衛星利用測位システム(GPS)、ドローンの導入など、施工プロセス全体におけるICT活用工事の開発に取り組んでいます。

